

インターネット利用に関する啓発について



2021年2月12日

安心ネットづくり促進協議会

インターネット大航海

- 安心ネットづくり促進協議会事務局が考える「これからの啓発」について、インターネットを広大な海に例えてまとめてみました
- 海はどこに向かうのも何を楽しむのかも自由に選択できますが、知識や経験が無ければ危険な状況に陥ってしまうところが、インターネットの世界も似ているように感じます

SNS ゲーム 配信 動画 WEB



保護者の船に乗っているとき ～ 自分の船を持ってから

- 総インターネット時代を迎え、子どもは幼児期のうちから保護者の船（スマホ、タブレットなど）を利用して海を体験しています
- 子どもは保護者の船に乗っていても見ている方向は違いますし、勝手に操船してしまうこともあります。そして、自分の船を持った瞬間から保護者の**目に留まらない場所にあつという間に行ってしまう**。そこは保護者が行ったことが無い場所かもしれません
- **子どもの船の行き先は把握できないことを、幼児期の保護者に強く認識してもらうことが啓発の重点ポイントの一つになると考えています**

海は自由に動ける！！



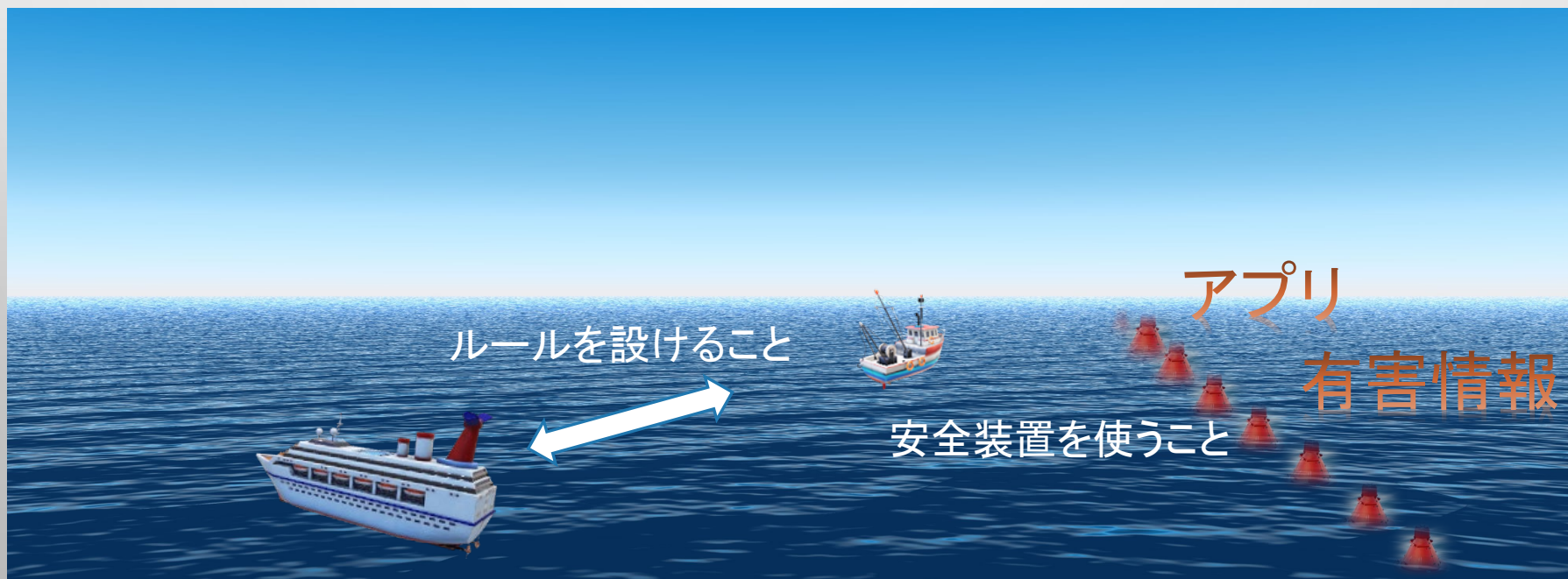
自由に動けるということ

- 日常生活よりも自由に動ける海では楽しいこともたくさんある一方で、海ならではのトラブルも多く待ち構えています
- 保護者は、目の届かない場所にいる子どもがトラブルを避けるための対策を行うと同時に、子ども自身がトラブルを回避・解決する能力を身に着けるよう導く必要があると考えています



安全装置の必要性

- 安全に航海するために保護者と子どもとの間でルールを設けること、安全装置（フィルタリング等）を利用するといった基本的な対策については引き続き啓発を行います
- 保護者の中には「子どもを信頼している」「使い勝手が悪い」などの理由により**安全装置の利用を止めてしまうことがあります**が、**トラブル回避のため最低限の措置としてWEBの有害情報のみ遮断することを**、安全装置の選択肢の一つにする検討が必要だと思います
- なお、この場合はアプリの利用制限が無くなることについて周知啓発が必要と考えます



海に対する知識・関心

- 子ども自身がトラブルを回避・解決する能力を身に着けるために、保護者は子どもの経験や成長度合いを見て、技量に見合うチャンスを与え成長を促すことが必要と考えています
- そのために、**海の特徴や注意すべきことを学び、それを子どもに伝え、見守ることも伝えていきたい**と思います。このことによって**「様々な問題を回避する力が高まる」**と考えています。
- また、子どもは海の知識を得て航海の目的を持つことで新たな世界に進むかもしれません



ご清聴ありがとうございました